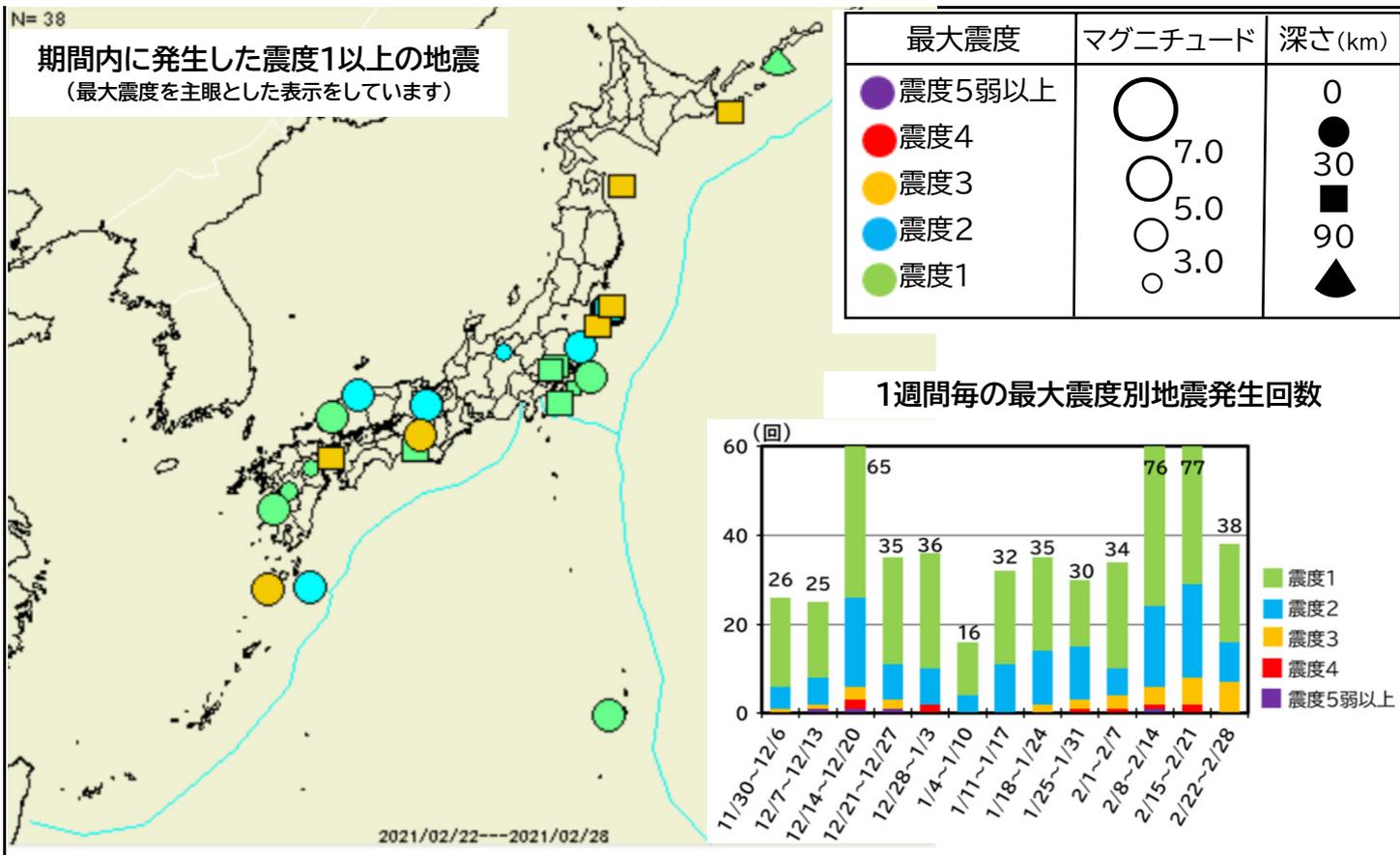


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が38回発生。最大震度は3
- 22日11時57分に和歌山県北部で発生した地震(M3.3、深さ4km)により、和歌山県和歌山市で震度3を観測したほか和歌山県、大阪府で震度2~1を観測。この付近では15日にM4.0(最大震度4)の地震が発生して以降、今回を含めて震度4を1回、震度3を1回、震度2を6回、震度1を17回観測。これらの地震は地殻内で発生。この付近は地震活動が活発な領域。
- 23日16時08分に伊予灘で発生した地震(M4.2、深さ53km)により、愛媛県西予市・伊方町で震度3を観測したほか中国・四国・九州地方で震度2~1を観測。この地震はフィリピン海プレート内部で発生。1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M6.0程度の地震も時々発生しており、2014年3月14日に発生したM6.2では最大震度5強を観測し、広島県や愛媛県などで負傷者 21 人などの被害が生じた。
- 27日時分にトカラ列島近海(口之島東方沖)で発生した地震(M3.5、深さ9km)により、鹿児島県利島村で震度3を観測。トカラ列島近海は地震活動が活発な地域だが、口之島近海では1997年10月以降M4を超える地震は発生していない(本資料第42号に関連トピックスあり)。

トピックス

13日23時07分に発生した福島県沖 — その後 —

- 震度1に達しない地震を含めた地震の発生状況は図1のとおりで、余震の発生が続いている。
- 図1の青四角内で震度1以上を観測した地震は、図2のとおりで、2月28日現在、総計95回。
- 震度1以上の地震は少なくなっていますが、福島県沖や宮城県沖は、元々、被害を伴う地震が多く発生している所。

最大震度	6強	4	3	2	1	合計
回数	1	1	6	26	61	95

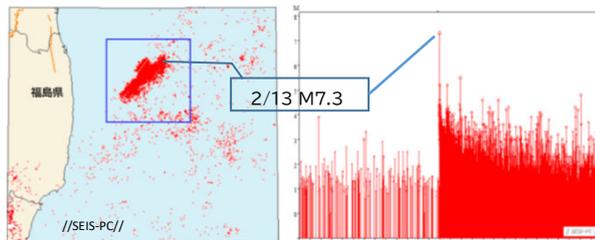
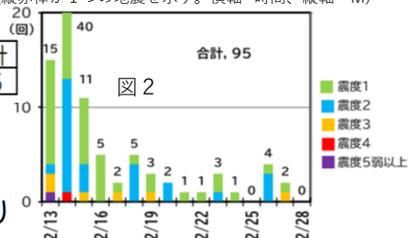


図1:左)震央分布図(赤丸が地震の発生した場所)。右)地震活動経過図(縦赤棒が1つの地震を示す。横軸=時間、縦軸=M)



- 地震が少なくなったから、もう大丈夫とは考えないで、大きな揺れがあることを前提に大きな揺れを感じたら、どう行動するのかを考えておくことが地震による被害を減らす有効な対策です。
- 一方、毎日毎日、地震を心配して生活する訳にもいきませんから、通常的生活を送りながら、大きな地震が発生した場合の行動を予め考えておくのが良いでしょう。
- 今回の地震を契機として、改めて日頃からの備えを確認しましょう。